

商品・工法名称	焼却施設の敷地外での焼却灰を保管する場合
商品・工法の分類	<input type="checkbox"/> 瓦礫処理、 <input checked="" type="checkbox"/> 除染作業、 <input checked="" type="checkbox"/> 除染仮置き、 <input type="checkbox"/> 復旧・復興、 <input type="checkbox"/> その他
商品・工法概要	焼却施設の敷地外で、8,000Bq/kg を超える焼却灰を保管する場合の対策。 現況からの浸水防止に空隙を持った網状体複合「ラビロンシート」、遮水シートの保護には環境負荷低減効果のあるエコマーク商品である「e-ボランス965RHB」を。遮蔽と上部防水・遮水シートの押さえを兼ねて、補強布にブロックが付いている「コンマット」を利用することで、設置・移設も簡易に実施できるシステム。
商品規格・概略図等	<p>コンマット：幅1.95m×長さ：任意 ラビロンシートFPS-25： 保護マット：e-ボランス965RHB：幅2または4m×50m(650g/m²,6mm) 仮排水路：素掘り側溝に乳剤+ボランス4061N+乳剤</p>
使用・施工条件 適応場所など	焼却施設の敷地外での使用
その他必要資材	廃棄物から敷地境界までの距離が取れない場合は、廃棄物の脇に土嚢や土を入れたフレキシブルコンテナ等を使用する。
使用・施工上の 留意点	遮水シート等の中央部をやや高めにして、雨水が仮排水路へ流れる施工にする。またコンマットは適度な間隔で敷設して遮蔽と上部防水・遮水シートが、風で舞い上がらないようにする。
維持管理	①保管前後の周辺の空間線量率を測定し、敷地境界が周辺の空間線量率と同程度となるようにする。 ②定期的に保管状況を確認し、異常等があった場合は速やかに対応する。
経済性	設置、移設が簡易に実施でき、工費および資材のコスト削減を図る。
参考文献	環境省指定廃棄物関係ガイドライン第三部 3-36
問合せ先	東洋紡績株式会社 スパンボンド事業部 石川、奥村 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア 電話03-6422-4858 FAX03-6422-4838 yuji_okumura@toyobo.jp masahiro_ishikawa@toyobo.jp